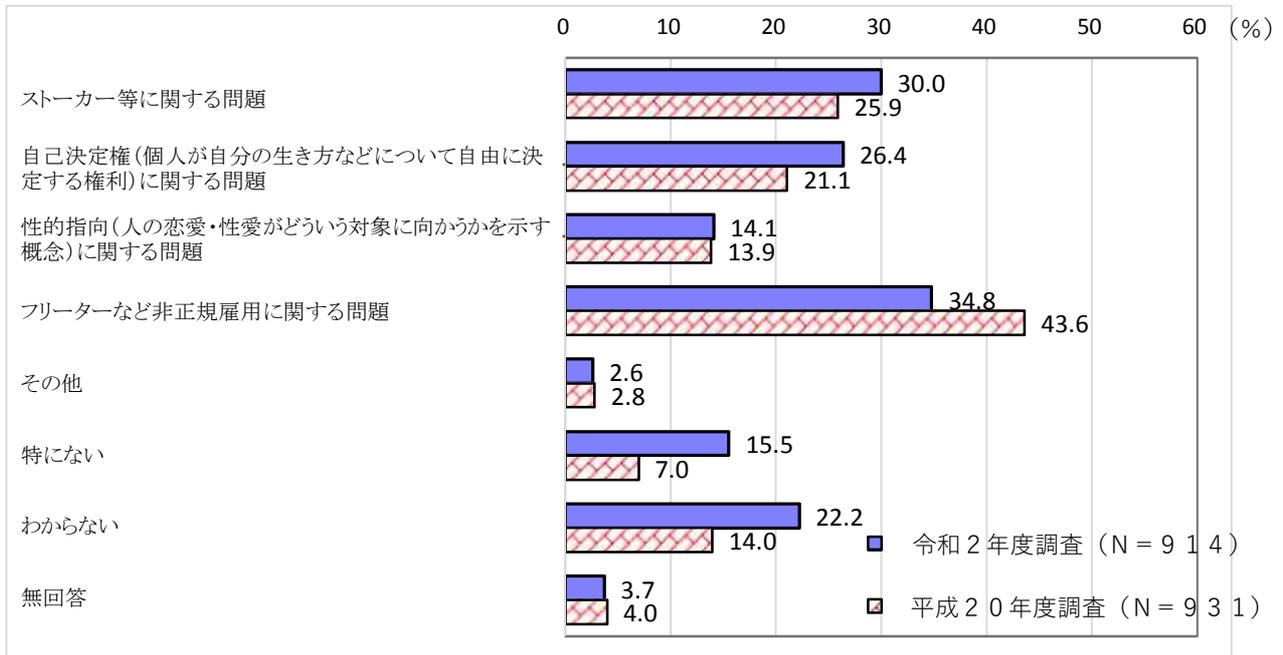


(4) 今後、宇部市人権教育・啓発推進指針に盛り込むべき人権課題

問23 あなたは、人権に関わる課題として、今後、「宇部市人権教育・啓発推進指針」にどのような問題を盛り込む必要があると思われますか。(✓はいくつでも)

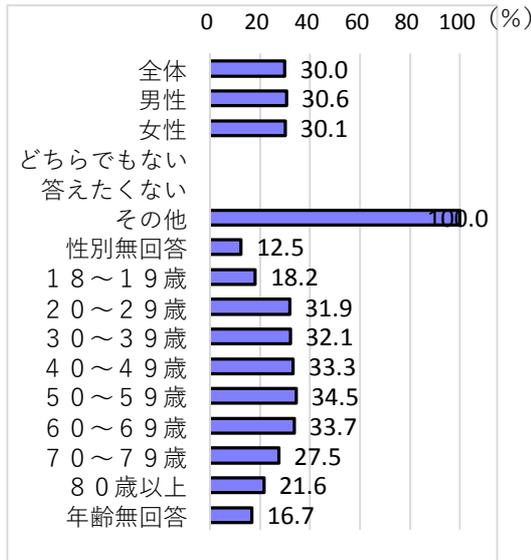
図23-1 今後、宇部市人権教育・啓発推進指針に盛り込むべき人権課題 (全体)



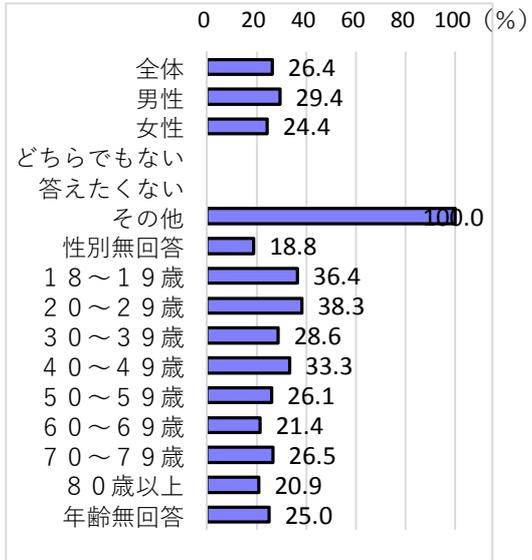
今後、宇部市人権教育・啓発推進指針に盛り込むべき人権課題を尋ねたところ、「フリーターなど非正規雇用に関する問題」と答えた人が34.8%で最も高く、次いで、「ストーカー等に関する問題」(30.0%)、「自己決定権(個人が自分の生き方などについて自由に決定する権利)に関する問題」(26.4%)、「性的指向(人の恋愛・性愛がどういう対象に向かうかを示す概念)に関する問題」(14.1%)と続いている。

図23-2 今後、宇部市人権教育・啓発推進指針に盛り込むべき人権課題（性・年齢別）

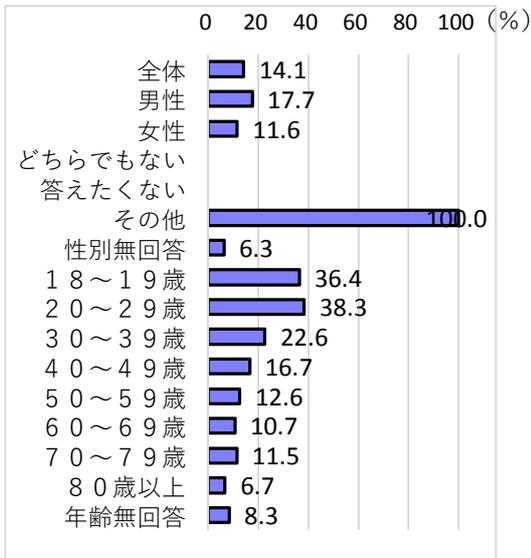
ストーカー等に関する問題



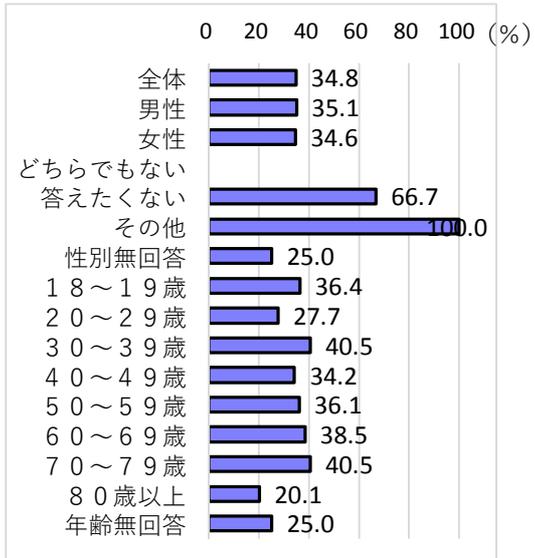
自己決定権(個人が自分の生き方などについて自由に決定する権利)に関する問題



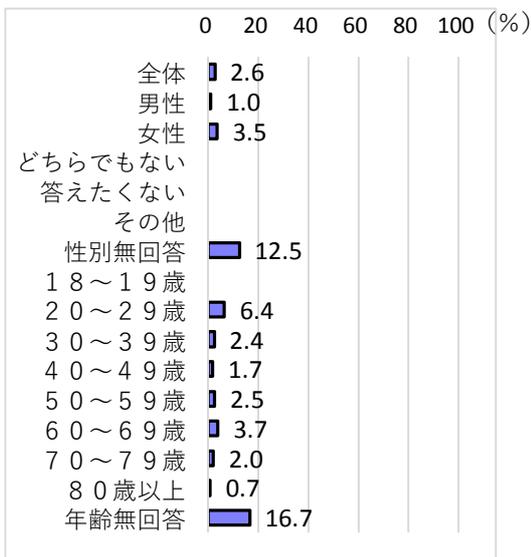
性的指向(人の恋愛・性愛がどういう対象に向かうかを示す概念)に関する問題



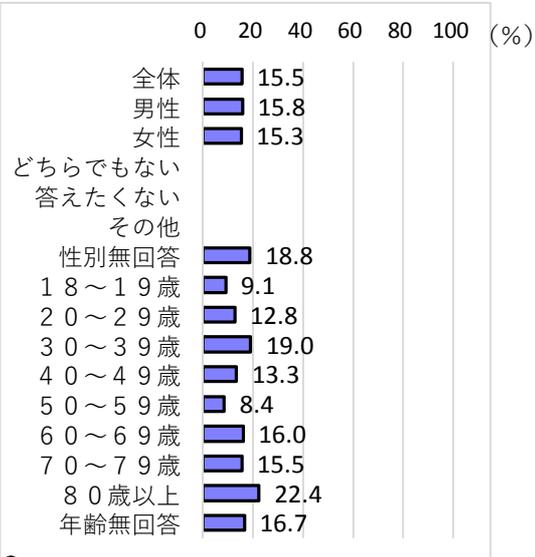
フリーターなど非正規雇用に関する問題



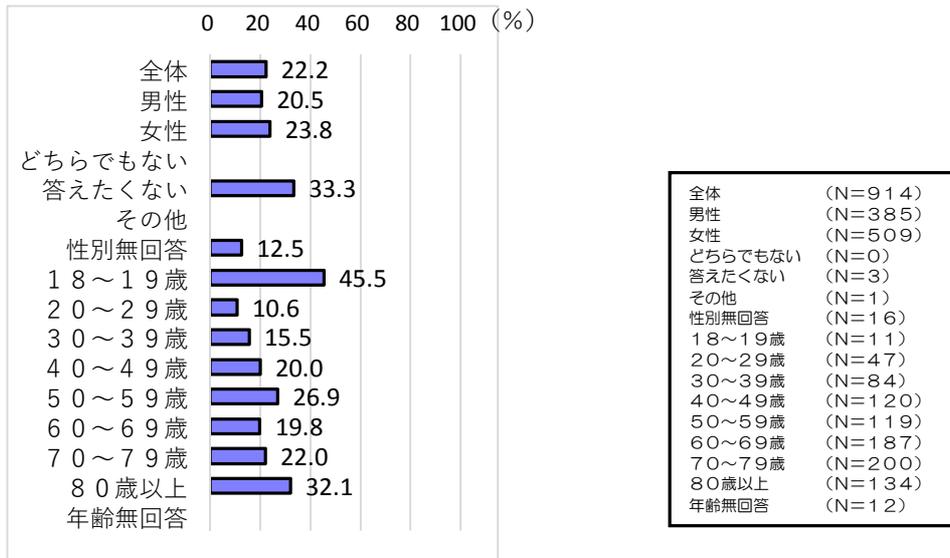
その他



特にない



わからない

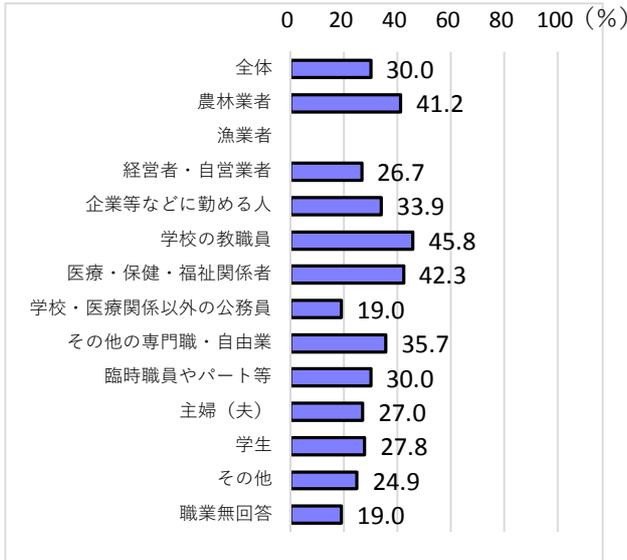


今後、宇部市人権教育・啓発推進指針に盛り込むべき人権課題について性別にみると、男女ともに「フリーターなど非正規雇用に関する問題」の回答割合が最も高くなっている。

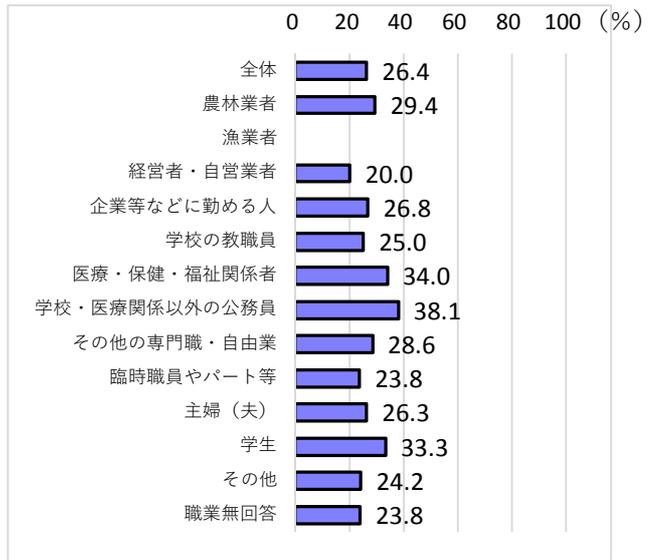
年齢別にみると、30歳～79歳で「フリーターなど非正規雇用に関する問題」の回答割合が最も高く、80歳以上で「ストーカー等に関する問題」の回答割合が最も高くなっている。

図23-2 今後、宇部市人権教育・啓発推進指針に盛り込むべき人権課題（職業別）

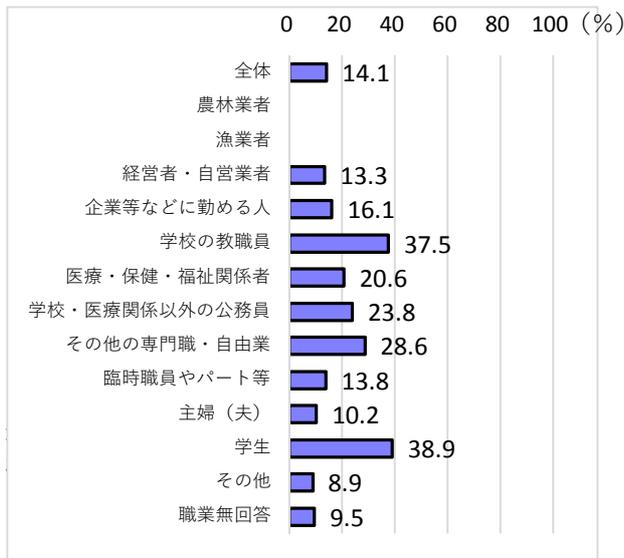
ストーカー等に関する問題



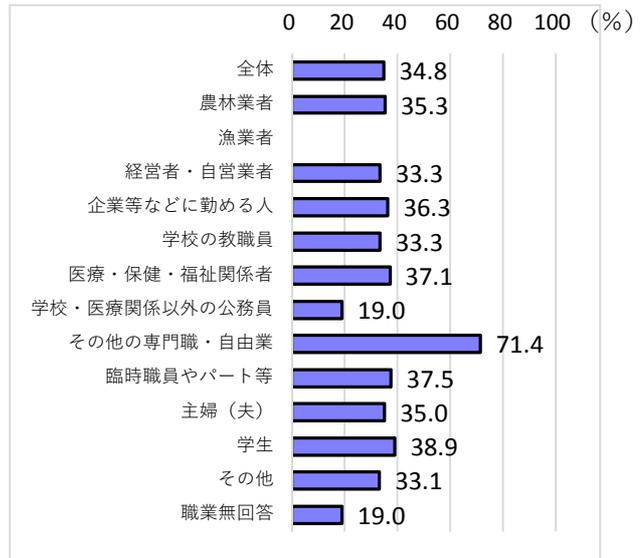
自己決定権(個人が自分の生き方などについて自由に決定する権利)に関する問題



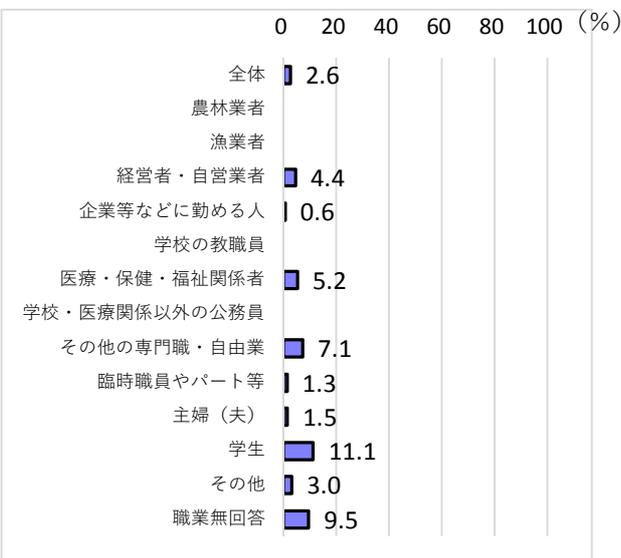
性的指向(人の恋愛・性愛がどういう対象に向かうかを示す概念)に関する問題



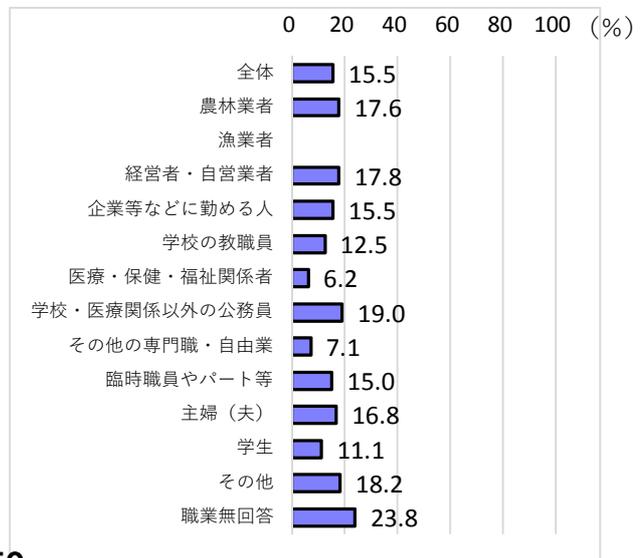
フリーターなど非正規雇用に関する問題



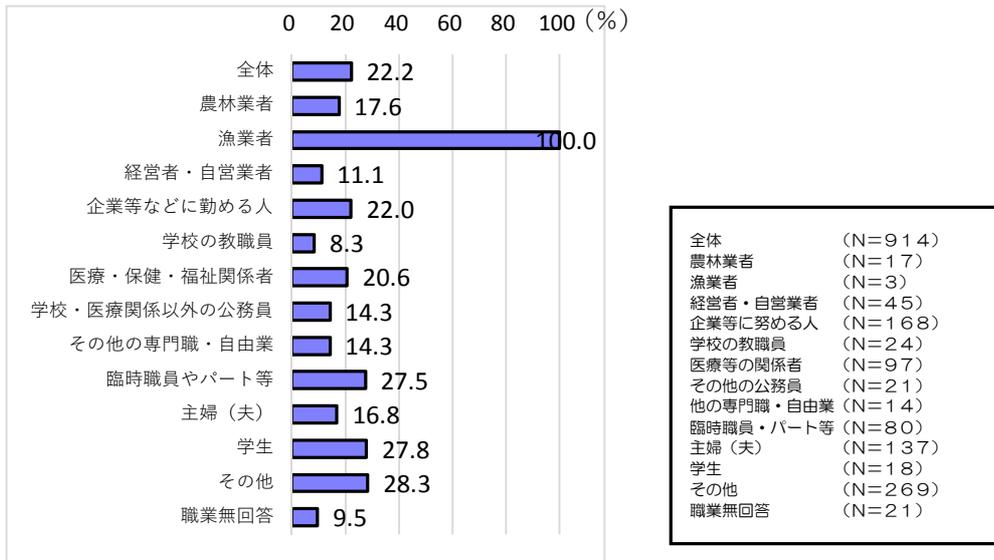
その他



特にない



わからない



今後、宇部市人権教育・啓発推進指針に盛り込むべき人権課題について職業別にみると、大半の職業において「フリーターなど非正規雇用に関する問題」の回答割合が高く、その他の専門職・自由業は71.4%となっている。また、学校の教職員は「ストーカー等に関する問題」(45.8%)、学校・医療関係以外の公務員は「自己決定権(個人が自分の生き方などについて自由に決定する権利)に関する問題」(38.1%)の回答割合が最も高くなっている。